



# 高畠高等学校創立100周年記念式典



会場ロビーには写真やゆかりの品を展示し、多くの方に楽しんでいただきました。



大浦日和生徒会長が「生徒代表のことば」を述べました。

高畠高校は今年度、創立100周年を迎えました。

10月28日（金）には、高畠町民文化ホール「まほら」にて、多くのご来賓のご臨席のもと、記念式典を挙行了しました。校長式辞、実行委員長挨拶ののちに、県教育委員会教育長様、高畠町長様からのご祝辞をいただきました。

また、「生徒代表のことば」を大浦日和さんが述べ、「コロナに対応するために生徒会を中心に新たな挑戦を行ってきた。苦しかったこと、楽しかったことの多くを経験してきた少しずつ成長できた」と、学校生活を振り返りました。そして「先輩方もきっと同じ過程をたどってきたのだろう」と思いをさせ、伝統を受け継ぐ決意とともに「記念すべき年に生徒会長を務めることができ、最も思い出に残る青春の1ページとなったことは自らの誇りだ」と述べてくれました。

記念講演では、佐藤奈々子氏（合同会社ヴォーチェ代表 社会福祉法人ヴォーチェ理事長）より、「人は何のために生きるのか」の演題で講話をお聞きしました。



講演終了後には、佐藤禅さんが「お礼のことば」を述べました。花束贈呈は、伊藤あやかさんです。

100周年記念品としてマフラータオルをいただきました。

 TAKAHATA HIGH SCHOOL



生徒たちも真摯な態度で式に臨み、100年の重みを感じました。決意も新たに次の100年のスタートです。